

国立高度専門医療研究センターの評価に関する主な評価軸（案）等について

※下線部分は、新規追加または修正を行ったもの

中長期目標	主な評価軸	備考（関連する評価指標、モニタリング指標等）
第3 研究開発の成果の最大化 その他の業務の質の向上に関する事項		
1. 研究・開発に関する事項 (1) 担当領域の特性を踏まえた戦略的かつ重点的な研究・開発の推進 ① 重点的な研究・開発 ② 戦略的な研究・開発	①科学的・技術的観点 成果・取組の科学的意義（独創性、革新性、先導性、発展性等）が十分に大きなものであるか	[定性的視点] ・独創性、革新性、先導性、発展性 ・地球的規模課題への裨益性 ※国際のみ ・具体的なインパクト [定量的視点] ・論文被引用数(評) ・(海外・国内) 著名誌への論文掲載数(評)
	②国際的観点 成果・取り組みが国際的な水準等に照らし十分大きな意義があるものか	[定性的視点] ・国際水準の研究の実施状況 ・WHOなど国際機関・NGOとの連携 ※国際のみ [定量的視点] ・国際学会での発表件数(モ) ・国際会議等の開催件数(モ) ・国際学会での招待講演等の件数(モ) ・国際共同研究・臨床治験の計画数、実施数(モ) ・海外の研究機関との研究協力協定の締結数(モ)

	<p>③妥当性の観点 成果・取組が国の方針や社会のニーズと適合しているか</p>	<p>[定性的視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国・社会からの評価等 ・ 外部研究資金獲得方針 ・ 精神保健、公衆衛生の向上や増進への寄与 ※精神のみ ・ 希少性、難治性疾患の克服の為の体制整備と研究推進 ※精神のみ ・ その他公衆衛生の向上や増進への寄与 ※国際のみ <p>[定量的視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部研究資金の獲得件数・金額(モ)
	<p>④アウトリーチ・理解増進の観点 社会に向けて、研究・開発の成果や取組の科学技術的意義や社会経済的価値をわかりやすく説明し、社会から理解を得ていく取組を積極的に推進しているか</p>	<p>[定性的視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アウトリーチ戦略 ・ 社会に対する研究・開発成果の発信 <p>[定量的視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HP等による成果等の広報数・アクセス数(評) ・ 記者会見実施数(モ) ・ 新聞、雑誌、テレビ等での掲載・報道数(モ) ・ 国民・患者向けセミナー等の実施件数(評) ・ 国民・患者向けセミナー等参加者数(評) ・ 医療従事者向けセミナー等の実施件数(評) ・ 医療従事者向けセミナー等参加者数(評)

	<p>⑤政策への貢献の観点 調査・分析に基づいた疾病対策の企画立案、 提言等による政策への貢献がなされているか</p>	<p>[定性的視点] ・政策推進戦略 ・国の政策への貢献 ・具体的な取組事例</p> <p>[定量的視点] ・委員、オブザーバーとして国の審議会、検討会等への参画数(モ) ・政策提言数(評) ・国際機関への提言数(モ) ※国際のみ</p>
<p>③ NC間の疾患横断領域 における連携</p>	<p>①研究開発環境の整備・充実の観点 <u>研究開発に資するデータ集積のための基盤 強化等に係る取組が十分であるか</u></p>	<p>[定性的視点] <u>・情報基盤等の構築</u> <u>・情報基盤データの利活用</u> <u>・他機関の疾患レジストリとの連携</u></p> <p>[定量的視点] <u>・患者情報、診療録情報の収集件数(モ)</u> <u>・他機関の疾患レジストリとの連携数(評)</u> <u>・情報基盤データを活用した学会発表数・論文数(モ)</u></p>
	<p>②領域間連携研究推進の観点 <u>NC間の連携により効果的な研究開発が期 待される領域への取組みが十分であるか</u></p>	<p>[定性的視点] <u>・共同研究課題の提案と実施</u> <u>・研究課題の進捗管理と評価システムの構築</u> <u>・企業との連携支援</u></p> <p>[定量的視点] <u>・NC間の共同研究の計画・実施件数(評)</u> <u>・企業等との受託・共同研究の計画・実施件数(評)</u> <u>・NC間の連携による政策提言数・学会等の策定する診療ガイドライン等 への提案件数(モ)</u></p>

	<p>③アウトリーチ・理解増進の観点 <u>社会に向けて、研究・開発の成果や取組の科学技術的意義や社会経済的価値をわかりやすく説明し、社会から理解を得ていく取組を積極的に推進しているか</u></p>	<p>[定性的視点] <u>・アウトリーチ戦略</u> <u>・社会に対する研究・開発成果の発信</u></p> <p>[定量的視点] <u>・HP等による成果等の広報数・アクセス数(評)</u> <u>・記者会見実施数(モ)</u> <u>・新聞、雑誌、テレビ等での掲載・報道数(モ)</u></p>
	<p>④研究者、研究開発人材の育成・支援の観点 <u>研究開発分野のニーズに応じた専門知識を有する人材の育成や研修の実施が図られているか</u></p>	<p>[定性的視点] <u>・人材育成戦略</u> <u>・具体的な取組事例</u></p> <p>[定量的視点] <u>・研究支援人材等の育成・研修コースの設置数(評)</u> <u>・受講者数(評)</u></p>
<p>(2) 実用化を目指した研究・開発の推進及び基盤整備</p>	<p>①研究開発環境の整備・充実の観点 <u>研究開発の体制の充実が図られ、研究成果の実用化に向けた橋渡しに係る取組が十分であるか</u></p>	<p>[定性的視点] <u>・治験、臨床研究の計画・実施状況</u> <u>・研究倫理体制の整備等の状況</u></p> <p>[定量的視点] <u>・治験、臨床研究の計画・実施件数(評)</u> <u>・バイオバンク検体登録件数(評)</u> <u>・バイオバンク試料を用いた研究の実施件数(評)</u> <u>・ヒトES細胞の樹立数(評) ※成育のみ</u></p>

	<p>②科学技術イノベーション創出・課題解決のためのシステムの推進の観点 有望なシーズを実用化へつなぐ成果の橋渡し、成果の社会還元に至る取組みが十分であるか</p>	<p>[定性的視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策的観点からの評価 ・社会的観点からの評価 ・国際的観点からの評価 ※国際のみ ・具体的な取組み事例 ・<u>知的財産の活用</u> ・<u>連携・協力戦略</u> ※記載場所の変更 ・<u>企業等との受託・共同研究の計画・実施状況</u> ※記載場所の変更 <p>[定量的視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進医療申請・承認件数(評) ・実施中の先進医療技術数(評) ・FIH 試験実施数(モ) ・FIC 試験実施数(モ) ※成育のみ ・医師主導治験実施数(評) ・<u>特許・ライセンス契約の件数・金額(評)</u> ・<u>企業との包括連携件数(モ)</u> ・<u>企業等との受託・共同研究の計画・実施件数(評)</u> ※記載場所の変更 ・モデル的高齢者医療・介護に関するマニュアル等の開発件数(モ) ※長寿のみ
	<p>③妥当性の観点 研究開発の体制・実施方策が妥当であり、法人としての信頼性が確保されているか</p>	<p>[定性的視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人としての信頼性が確保される仕組み <p>[定量的視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部委員による事業等評価実施数(評)

	<p>④社会・経済的観点 診療ガイドラインの作成・情報提供等の取組により、国の医療の標準化に貢献しているか</p>	<p>[定性的視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の医療機関との連携・協力 ・社会・経済面における具体的なインパクト ・国際機関におけるガイドライン等の作成への関与 ※国際のみ <p>[定量的視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学会等の策定する診療ガイドラインへの採用件数(評) ・学会等の組織する診療ガイドライン作成・改訂委員会等への参画件数(モ) ・小児がん等の成育疾患の中央診断実施件数(評) ※成育のみ ・医療・介護従事者に対する高齢者医療技術等の研修実施数、研修参加者数(モ) ※長寿のみ
	<p>⑤研究者、研究開発人材の育成・支援の観点 医療政策を牽引するため国際的な水準等に照らして活躍できる研究者、研究開発人材の育成が図られているか</p>	<p>[定性的視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の人材獲得・育成戦略 ・具体的な取組事例 <p>[定量的視点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の育成研究者数(評) ・教育・人材育成に係る研修実施数(評) ・教育・人材育成に係る研修への参加研究者数(評) ・連携大学院への参画件数(モ) ・大学・研究機関等との包括連携件数(モ)